

## 令和6年度 第1回常任理事会 議事録

日 時 令和6年4月13日(土) 10時00分  
場 所 北海きたえーる研修室  
出席者 印藤智一、家近明彦、齊藤幸治、石崎 賢、  
川崎尚子、笹森恭之、太刀川建一、坂本雅春、  
多田吉宏、佐見洋治、辻井淳一、  
明井寿枝(議事録)

<進行：石崎常任理事>

### 1 開 会

※議事録署名人(印藤理事長、石崎常任理事、太刀川常任理事)

### 2 理事長あいさつ

新年度に入り各委員会においても全道委員長会議等が行われている。

1年後の法人化に向け、今後も各委員会の協力をお願いする。

### 3 協議事項

各担当から、以下の内容について説明があり、理事会提案が承認された。

#### (1) 令和5年度 事業報告(案)について

・総務委員会では、理事会、評議員会のほか、Vリーグ運営会議、正副会長会議、地区協会・加盟団体との意見交換会を実施した。また、JVAの暴力撤廃アクションに基づく啓発を随時行った。(齊藤総務委員長)

・競技委員会では、各種会議や抽選会のほか、天皇杯・皇后杯や高校選手権等の大会を開催した。

今後も高校新人大会の大会運営方法等について検討する。(石崎競技委員長)

・審判委員会の資料掲載誤りにより、5月11日開催の常任理事会で協議する。

・指導普及委員会の資料中、北海道中学生バレーボール選抜優勝大会の開催回数が「第42回」から「第43回」に修正された。

各種会議のほか、指導者研修会、小・中学校大会を計画どおり開催した。(笹森指導普及委員長)

・強化委員会では、中学強化及び高校強化を計画どおり実施した。国民スポーツ大会において、少年女子がベスト4の結果を残した。(太刀川強化委員長)

#### (2) 令和5年度 一般会計・特別会計決算(案)について(齊藤総務委員長)

一般会計の収入の部では、令和4年度決算を踏まえ、令和5年度に繰越すための補正予算措置を行ったほか、交付金、賦課金、参加料及びVリーグ業務受託料収入等が入金された。また、売掛金は、Vリーグ業務受託料の未収金を売掛金として計上したうえで決算し、収入合計2,403万427円となった。

一方、支出の部では、道スポーツ協会への納入金のほか、各委員会事業費、公認

会計士や行政書士への委託料、法人税等の公租を支出し、支出合計は1,876万7,882円となり、差引526万2,545円を令和6年度に繰越す決算となった。

今次決算においては、繰越金が約530万円と大きくなっているが、Vリーグ受託収入は、決算上、売掛金として計上しており未入金であることや、今後も基金に頼らない協会運営を目指すため、一定程度の財源確保が必要になることから、使うことを前提として、次年度に繰越したいと考えている。

次に、特別会計の財政調整基金では、前年度繰越額に預金利息を加えた900万153円を、強化育成基金では、前年度繰越額に預金利息を加えた1,871万7,929円から、国民スポーツ大会少年強化対策事業として160万円を支出し、差引1,711万7,929円を令和6年度に繰り越す決算となった。

(意見)

・繰越金については、法人化を機に、ボランティア組織からアマチュア組織へ移行し、日当支給を検討するなど、スタッフの負担軽減を図り、選手強化とスタッフ育成の財源として活用していきたい。(印藤理事長)

・強化委員会のJOCや国民スポーツ大会選抜スタッフは、ボランティアで頑張っており、負担軽減策を検討してほしい。(家近副理事長)

#### (3) 令和5年度 一般会計補正予算(案)について(齊藤総務委員長)

資料中、表題の年度を「令和5年度」から「令和6年度」に修正した。

今次補正案は、収入に繰越金526万2,545円を加えるほか、受託収入や令和5年度決算により、収入合計2,483万4,000円とする。

一方、支出では、強化委員会事業費において、国民スポーツ大会やJOCの強化練習会のスタッフ旅費を現行旅費規程に基づき支給対象とするほか、予備費では、法人設立に向け、基金に頼らない一般会計運営を目指し、一定程度の財源確保を確保するため425万9,000円を措置する。

(補足)

SVリーグに伴い、デンソーが札幌でホームゲームを開催しないことが決定した。

これにより業務受託料収入が減となる。(印藤理事長)

#### (4) 法人設立に向けた旅費規程(案)について(齊藤総務委員長)

旅費規程については、法人化を機に、ボランティア組織からアマチュア組織に移行すべく、日当等の対応について協議したい。

(意見)

・旅費規程は、すべて会議・大会等に適用するのか? ⇒ 基本的には全てと考えているが、財源もあり適用範囲は調整が必要と考えている。

・中体連・高体連の旅費規程を参考とし、引き続き検討する。

## 4 報告事項

### (1) 日本協会

- ・4月2日にJVAの中期報告があり、その際にロゴ変更等の報告がなされた。
- ・SVリーグライセンスの発表も行われ、今後もスケジュール等を確認しながら、道協会としてもチーム支援を継続していく。

## (2) 各委員会関係

### ①総務委員会（齊藤総務委員長）

- ・道協会主催大会への企業協賛について  
中学校・高校の冠大会の開催について、今後協議を進める。
- ・パリオリンピックに参加する明井寿枝審判員の壮行会の開催について  
国際大会参加の都合もあり、7月13日(土)に開催する。  
時間・場所等の詳細は、坂本総務副委員長が調整するので、予定願う。
- ・本日、令和5年度監査実施している。
- ・第2回常任理事会は、5月11日(土)10時から、北海きたえーるで、第1回理事会を13時30分から、評議員会を15時から開催する。

### ②競技委員会（石崎競技委員長）

- 高校新人大会の開催日程や抽選方法の見直しについて、報告がなされた。  
3月中旬開催は、高校入試の追検査日程と重なることから再度検討が必要との意見が出た。
- ・審判委員会（川崎審判委員長）  
A級審査会受講者が、竹本裕哉（札幌）、品田真太郎（旭川）、女性枠で三村志帆（札幌）に決定した。
- ・強化委員会（太刀川強化委員長）  
国民スポーツ大会選考会の開催検討について  
大会運営に関する課題解決に向けた対応を引き続き検討する。
- ・指導普及委員会（笹森指導普及委員会）  
3月開催の地区選抜大会が終了した。  
コロナ前の運営方法で開催し、男子17・女子25チームの参加により、盛り上がりを見せた大会となった。
- ・中体連（佐見常任理事）  
様々な地区から、地域連携のチームに関する問い合わせが寄せられている。  
5月に日本中体連の会議があるので、情報提供したい。
- ・ヤング連（辻井常任理事）  
合同チームからクラブ化し中体連に出場する状況が見受けられる。

## 5 閉 会

【次回：令和6年5月11日（土）10時～ 北海きたえーる】

議事録署名人

理 事 長

印 藤 智 一

議事録署名人

石 崎 賢

議事録署名人

太 刀 川 建 一